

2 目 標 達 成 計 画

事業所 グループホーム神苑

作成日 平成28年 3月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出に偏りがある。希望の申し出できない利用者の外出が少なく、ADL低下と共に外出の機会が減ってきているという現状がある。	日常的な外出をされている利用者については、今後も継続し、外出の機会が少ない利用者への外出の機会を増やす。	個々に応じた外出を行う。車椅子利用の利用者については、近隣への散歩や苑庭への外出を週2～3回は実施する。	12ヶ月
2	40	食事の献立に同じメニューが続くことがあったり、食べやすさへの工夫に欠けている時がある。利用者共同での食事作りへ機会が減ってきている	利用者の有する能力を活用し、食に関わる機会を工夫しながら、食べる、見る 匂い等、味や食感以外でも楽しめる様に努める。	同じ献立にならないように、3日前までの献立を確認する。季節や行事食の膳に季節を感じる事の出来る品を添える等、見て楽しむ事が出来る工夫をする。利用者へお品書きを書いて頂き関わりや楽しみを持って頂く。	12ヶ月
3	54	居室空間に生活感薄く、寂しさを感じる。居室の清掃が行き届いていない箇所がある。	ゆっくりと、くつろげる居室空間の環境作りを行う 清潔で過ごしやすい居室づくりに努める	趣味で作成された作品などを飾る。季節毎に変えるなど作品の入れ替えを行う。また飾る際にも作品が生える様に工夫する。 窓ガラスや棚、またはベッド下等隅々の清掃を月に1回は行う	12ヶ月
4	45	浴室に物が多く、入浴を楽しめる環境とは少し遠のいている	浴室の整理整頓を行う。 ゆっくりと、入浴を楽しめる環境作りを行なう。	常に衛生に気を付け整理整頓をする。 入浴剤を使用したり、壁、窓等に季節を感じる飾りなどを工夫し、ゆったりと入浴が出来様に工夫する。	12ヶ月
5	43	緩下剤を服薬されている利用者が殆どで、緩下剤からの影響と思われるトイレ頻回であったり、間に合わず失禁もあり、落ち込まれる事がある。	緩下剤服用を減らす工夫をする	便通効果のある食品を食事メニューや、おやつに提供する。水分摂取の少ない利用者への水分補給に工夫し、日々の体操や歩行運動、腹部マッサージを継続していく。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

